

電子テキスト型コンテンツの制作と授業運用

林 敏浩(香川大学 副理事、情報化推進統合拠点 拠点長、大学教育基盤センター 副センター長、創造工学部(兼務) 教授)

講師略歴

平成元年3月徳島大学工学部情報工学科卒業、平成6年徳島大学にて博士(工学)の学位取得。平成6年より佐賀大学理工学部講師、平成17年より香川大学総合情報基盤センター准教授、平成25年より香川大学 総合情報センター(現在、情報化推進統合拠点・教育情報推進支援センター)教授。教育工学を専門として、大学全体の教育支援システムを含むコンピュータ・ネットワークシステムの導入、運用、管理、利活用支援まで広範に担当。

プログラム概要

コロナ禍に対する対面授業の代替手段として多くの教育機関で e-Learning が採用されました。このような授業実施の経験を踏まえ、対面授業との併用を前提として e-Learning の利活用が今後も進むと考えられます。そのような利活用では、対面授業にない e-Learning の特徴を生かすことが肝要です。例えば、時間割や場所に拘束されないので、学生の学びの機会を増やせます。一方、オンデマンド型 e-Learning では動画教材コンテンツの作成や改修の負荷が高く、実施のハードルになる場合があります。このような問題に対して本講師は2018年度より電子テキスト型 e-Learning コンテンツを制作して、それを用いてオンデマンド型 e-Learning を運用しています。この授業実践に基づいて、本授業では、授業理念、設計、運用、実施に有用なノウハウなどについて情報共有したいと思います。

準備物・事前課題

特にありません

主な受講対象者

・オンライン授業(特にオンデマンド型 e-Learning)の設計や実施に関わる教職員

到達目標

1. e-Learning の利点、欠点を説明できる。
2. オンデマンド型 e-Learning の学習コンテンツの種類を説明できる。
3. 電子テキスト型 e-Learning コンテンツの利点と欠点を説明できる。